



2023年9月15日

各位

会社名 扶桑化学工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉田 真一
 (コード番号 4368 東証プライム)
 問合せ先 上席執行役員管理本部長 伊藤裕之
 (TEL. 03-3639-6311)

業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年9月15日開催の取締役会において、2023年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,600	7,100	7,100	4,850	137.61
今回修正予想 (B)	27,400	5,500	6,050	4,100	116.32
増減額 (B-A)	△6,200	△1,600	△1,050	△750	—
増減率 (%)	△18.5	△22.5	△14.8	△15.5	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	35,359	9,578	10,757	7,516	213.26

(参考) 減価償却前連結営業利益(連結営業利益+減価償却費) (%表示は増減率)

今回修正予想 8,250百万円(△18.7%) 前回発表予想 10,150百万円

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	69,300	13,800	13,800	9,450	268.13
今回修正予想 (B)	60,500	10,950	11,550	7,900	224.13
増減額 (B-A)	△8,800	△2,850	△2,250	△1,550	—
増減率 (%)	△12.7	△20.7	△16.3	△16.4	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	68,459	18,930	19,740	14,129	400.90

(参考) 減価償却前連結営業利益(連結営業利益+減価償却費) (%表示は増減率)

今回修正予想 18,250百万円(△15.9%) 前回発表予想 21,700百万円

修正の理由

ライフサイエンス事業の市況は、国内食品用途は底堅く推移しているものの、工業用途の需要落ち込みが想定より長期化しています。海外市場は、中国市場、欧州経済の低迷の影響が顕在化し需要が大きく落ち込んで推移しています。コロナ禍の物流の混乱による世界的な在庫増加の反動の影響も加わり、円安による売上高増加の効果はあるものの、売上高は計画を下回る見込みです。営業利益も継続して取り組んでいる販売価格の改定の効果はあるものの、売上高減少の影響が大きく、原料価格、円安による輸入価格の上昇等の影響も加わり、計画を下回る見込みです。

電子材料および機能性化学品事業の市況は、半導体市場の低迷が想定より大きく長期化しています。主力製品である超高純度コロイダルシリカの売上高は、低迷する半導体市場の影響を受け、計画を大きく下回る見込みです。営業利益も、円安の効果はあるものの、売上の減少に加え、稼働率低下によるコストアップの影響もあり計画を下回る見込みです。

営業外損益に円安の進行により為替差益の計上が見込まれますが、経常利益・当期純利益も営業利益の減少の影響が大きく、計画を下回る見込みです。

このような状況を踏まえ、市況・生産能力・在庫状況・為替等、業績に影響を与える条件について改めて精査しました。その結果、両事業とも市況は底を打ちつつあるものと想定されますが、回復までには至らず、厳しい状況は継続すると予想されます。そのため 2023 年 5 月 11 日に公表した計画値を売上高、利益面とも下回る見込みとなりましたので、連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上